

会 員 各 位

平成20年度第59回大会は、下記のとおり開催の運びとなりましたので、会員諸氏におかれましては是非ご出席いただきますようご案内いたします。

- 1. 日 時 : 2008年10月4日(土)・5日(日)
- 2. 会 場 : 麗 澤 大 学
- 3. 大会プログラム

第 1 日 10月4日(土)

- 1) 公開講演 13:00~16:30 (廣池千九郎記念講堂)

I. 現代朝鮮語研究の新たな視座

—言語研究と言語教育のために—

東京外国語大学大学院教授 野 間 秀 樹 氏

II. 朝鮮王朝の前半期(初期及び中期)に於ける対中・対日美術交流

ソウル大学校人文大学名誉教授 安 輝 濬 氏

- 2) 総 会 17:00 (公開講演終了次第)~17:45 (廣池千九郎記念講堂)
- 3) 懇 親 会 18:00~ レストラン「まんりょう」

第 2 日 10月5日(日)

- 4) 研究発表会 9:00~

◆第1部門: 語学分野 ★第1会場 (1号棟1403)

《(講)非常勤講師 / (院)大学院生》

1. 韓国語教育とことわざ

—「ことわざミニマム」「ことわざスペクトル」の視点から— 名古屋大学大学院 鄭 芝 淑

2. 中級韓国語学習者のコミュニケーション能力向上のための新教材

—日本における日本語母語話者学習者の例— 明治学院大学(講) 李 志 暎・柳 慧 政  
国際交流基金日本語国際センター 金 孝 卿

3. 韓国語上級学習者の音読の特徴とシャドーイングの効果

—ニュース冒頭部分の音読を中心にして— 関西大学(院) 前 田 真 彦

4. 意味グループをなす内外空間名詞「안」, 「속」, 「밖」, 「길」の意味用法について

東京外国語大学(院) 金 恩 恵

5. 仏教儀礼集にみられる真言表記の変化について

北海商科大学 水 野 俊 平

6. ピョンヤン方言の待遇法の体系について

—10代後半から20代の話者の場合—

朝鮮大学校 韓 成 求

7. 現代韓国語文体成立過程の一変因

—‘国漢混用’と‘ハングル専用’—

延世大学校文科大学 韓 榮 均

8. 韓国古代文書木簡の国語学的意義【招聘報告】

韓国技術教育大学校 鄭 在 永

◆第1部門: 語学分野 ★第2会場 (1号棟1404)

1. 出現環境からみる「만 man (だけ)」の作用域と意味域

—現代韓国語複合動詞を題材に—

大阪大学(講) 朴 恩 珠

2. 日本語の「は」と韓国語の「가」

上智大学(講) 印 省 熙

3. 行為主としての〈예게 (エゲ)〉項について

九州大学大学院 金 亨 貞

4. 韓国近代啓蒙期の韓国語格助詞の研究

—格助詞の機能変化を中心に—

延世大学校 李 智 淵・金 玟 局・尹 程 遠

5. 日本語と韓国語の談話における緩衝表現 (buffering expression) の構造

明治学院大学 金 珍 娥

6. 結果相「-고 있다」について

大阪大学(講) 睦 宗 均

7. 現代朝鮮語の受動文の種類  
 — ‘-이-, -히-, -리-, -기-’ による派生を中心に— 神田外語大学(講) 崔 昌 玉
8. 日韓語の動詞結合に関する対照研究  
 — 「食べる/먹다」をV2とする例を中心に— 北海道大学(院) 李 忠 奎
9. 韓国語の動詞보다の研究と보다から見た日本語 東京外国語大学(院) 高 槿 旭

◆第2部門：文学分野（1号棟1405）

1. 「光の中に」を読み返す  
 — 「内鮮一体」の問題を中心に— 早稲田大学(院) 郭 炯 徳
2. 近代文学と女性、そして「はみ出し者」 宇都宮大学(院) 金 多 希
3. 『어린이』誌における童話論  
 — 野口雨情との比較を通して— 首都大学東京(講) 黄 善 英
4. 東洋文庫本『観感古人積徳報恩説』所収ハングル筆写本『了凡先生伝』の特徴 早稲田大学(講) 山 田 恭 子
5. 作家朴花城の東京体験 県立新潟女子短期大学 山 田 佳 子
6. 李泰俊の日本体験  
 — 長編『思想の月夜』の「東京の月夜」を中心に— 福岡大学 熊 木 勉
7. 1910年代における韓国の新派演劇界の危機意識と連鎖劇の登場 慶北大学校 金 宰 奭
8. 植民地時期における慶州の表象【招聘報告】 東国大学校 黄 鍾 淵

◆第3部門：歴史学・民族学・考古学・その他の分野（1号棟1408）

1. 平壤安鶴宮遺跡の調査研究史をめぐって 奈良文化財研究所 千 田 剛 道
2. 考古資料に見る百済・新羅官人の成立 日本大学 山 本 孝 文
3. 1116年入宋高麗使節の体験  
 — 外交と文化交流の現場— 東京大学(院) 豊 島 悠 果
4. 14世紀の日麗外交と禪林ネットワーク 天理大学 藤 田 明 良
5. 朝鮮通信使の通行と乗馬調達  
 — 対馬藩役人出馬役の役割を中心に— 慶應義塾大学(院) 横 山 恭 子
6. 『西岳志』異本考  
 — その概要と類型化— 東京大学 六 反 田 豊
7. 朝鮮慶尚南道「統榮太閤掘海底隧道」築造の研究 筑波大学(院) 松 浦 正 伸
8. 近代化と庭園  
 — なぜ韓国の庭は見えないのか— 宇都宮大学(院) 宮 本 玲 子

\*\*\*\*\*

☆大会に参加される方は、準備の都合上、9月17日までに出席についてご回答ください。

☆大会参加費（1,000円）、懇親会費（3,000円）は、当日受付に納めてください。

☆総会の議題として語りたいことがあれば、9月25日までに申し出てください。

☆宿泊を希望される方は、下記の施設に直接交渉してください。

1. 麗澤大学研修寮（1泊4,000円、共同浴場、共同トイレ。食事の必要な方は事前に予約が必要です。朝食420円、昼食650円、夕食730円。お早めにお申し込み下さい。）Tel.04-7173-3931
2. 三井ガーデンホテル柏 Tel.04-7166-3111      3. ザ・クレストホテル柏 Tel.04-7146-1121
4. 柏プラザホテル      Tel.04-7147-1111      5. ビジネスホテルたかぎ Tel.04-7167-2783

\*\*\*\*\*

〒632-8510 奈良県天理市杣之内町 1050 天理大学内  
 Tel.0743-63-9060 / Fax.0743-62-1965（天理大学気付）

朝 鮮 学 会